

教育センター学びの丘研修員研修の概要について

和歌山県教育センター学びの丘が実施する研修員研修は、研修員が教育に関する専門的・技術的事項について修養を積み、教員としての資質・能力を高めるとともに、今日的教育課題解決のための研究を行い、その成果を広く学校現場に還元することを目的としている。

変化が激しく、先行きが不透明で将来の予測が困難な時代において、その社会を担い未来を切り拓くのは間違いなく今日の子どもたちである。子どもたちは、探究的な学習や体験活動を通して、多様な他者と対話、協働を繰り返しながら学びを深めていく。その子どもたちを育む立場にある学校、そして、教職員の役割は益々大きくなり、子どもたちの模範としての「新たな教師の学びの姿」の実現が不可欠である。

これらを踏まえ、この研修員研修を「自らの課題や所属校における課題の解決を目指して取り組む研究と、その土台の部分となる様々な知識・技能を幅広く身に付けていく修養の機会（下図参照）」とし、教育センター等が実施する多岐にわたる研修講座や指導主事等による研修員研修、所属校における校内研修の機会を通して、教員としての資質・能力の向上に取り組んできた。

なお、自己の専門性を向上させるために、年間を通して行った研究については、「研究報告書」として研修員研究集録に掲載する。

段階	第1段階 基礎期	第2段階 向上期	第3段階 探究期	第4段階 充実期	第5段階 修了期
月	4月～5月	6月～8月	9月～11月	12月～1月	2月～3月
研究	・研究テーマ、方向性を設定し、第1回報告会で発表	・所属校での研究に向けた計画の立案、模擬授業等の実施	・研究計画について第2回報告会で発表 ・研究の実践 等	・研究実践で収集したデータ分析 等 ・教育センター学びの丘研究報告会で発表	・研究報告書、資料の作成
修養	所属校研修「所属校との連携・研修成果の還元」				
	・教員としての資質の向上に関する指標に基づくトレーニング（「学習指導」「生徒指導力」「特別な配慮や支援を必要とする子供への対応」「ICTや情報・教育データの利活用」「教職に必要な素養」）				
	<input type="checkbox"/> 専門性の向上を目指す研修等受講				
	<input type="checkbox"/> 教職経験年数に対応した研修等聴講				
	<input type="checkbox"/> 学びの丘指導主事等による研修員研修				

図 研修の概要

令和6年3月

和歌山県教育センター学びの丘
研究開発課